

教科(科目)	水産(ダイビング)	単元名	スキンドайビング	クラス	海洋工学科3年
使用教科書	ダイビングマニュアル		指導者	奥原 直之	
単元の評価規準	単位数	2単位			
【関心・意欲・態度】	【思考・判断】	【技能・表現】	【知識・理解】		
潜水全般に関心を持ち、潜水作業に必要な知識及び技術の習得に意欲的に取り組むことができる。	習得した知識を総合的に活用し、課題を発見・理解して適切に判断することができる。	習得した知識を総合的に活用し、現象を適切に判断したうえで考察することができる。さらに、知識を技術として活用できる。	潜水に関する知識を習得し、知識習得の意義及び知識の活用法を理解している。		

本時の目標						
「高等学校潜水技術検定」二級・一級実技試験の取得に向けての基本的な技術を習得する。各種器材の取り扱い、使用法を学習し、高等学校潜水技術検定の実技検定項目を実施し、潜水実技に関する基本的な技術を習得する。また、3月時の沖縄潜水実習時において安全にかつ、楽しく潜水実習が実施できるよう個人個人が自覚を持って潜水実習に取り組めるよう学習する。なお、実習の時間は2時間利用しグループを4班に分かれて実施する。						
学 習 の 展 開	区分	指導内容	学習の内容と形態	時間	指導上の留意点	
	導入	・整列・出席確認 ・座学時の復習と実習における説明	一斉授業 本時の注意事項の説明	5分	座学で学んだ内容を確認させる。	
	展開	スクーバダイビング 検定項目(2級実技) ・泳力 ・スキンドайビング	・準備、着せ替え及び器材セッティング		5分	素早く行動させる。
			グループ① ・水中遊泳(平行潜水25m以上) 1.5m程度の水深で水平に25m息をこらえて潜る。		20分	水底に逆立ちをするようにして水中に入る。このとき水しぶきを上げないように両足を揃える。フィンはゆっくり大きく動かす。
			グループ② ・マスク拾い(水深3m) ・マスク脱着(水深3~5m)		20分	目を開けてヘッドファーストダイブで潜降する。水中でマスクストラップを手の甲に当てて、ストラップを頭につける。水面を仰ぎ見るように上を向いてマスクの水を抜く。スパイラルをかけながら浮上しスノーケルクリアをして浮上する。
			グループ③ ・ヘッドファーストダイブ(7m以上) 頭を先にして潜っていくのでヘッドファーストと呼ぶ。		20分	水面に水平な姿勢で浮く。水面に向かって逆立ちの姿勢となり足はまっすぐに伸ばす。一本の棒が水中に突き刺さっていくイメージで沈んでいく。
			グループ④ ・セルフレスキュー ・ウエイト脱着(水深5m) ・ウエイト脱着(浮上3m)		20分	水中のトラブルに対応するために水中に浮上するための浮力を確保するために重いものを捨てる。(ウエイトを捨てる)バックルとベルトの向きに気を付ける。
		・着替え ・整理整頓		5分	素早く行動させる。	
まとめ	本時のまとめ ・整列、集合	一斉授業 本時の反省及び課題	5分	座学で学んだこと実際に体験したこととの比較によりどのくらい理解を深めたか確認する。		
評価	「高等学校潜水技術検定」二級・一級実技試験の取得に向けての基本的な技術を習得できたか。実習における行動が、安全に取り組め、班別行動に配慮できたか。					